

我々行政の場合は、最終的には「市民の幸福と市の発展の実現のためになっているか」という究極の基準で物事を判断する必要がありますが、どうしても判断に迷った時は、「人として正しいことは何か」という、人間が本来持っている基本的な倫理観に沿って判断することが重要です。すなわち、「損得ではなく善悪で判断し、人間として正しいことを貫く」ということです。

そのためにも、我々一人ひとりが、それぞれの人間力を高める必要がありますが、人間力を高める上で、皆で都城フィロソフィを学んでいくことは極めて重要であると考えています。

（令和元年12月2日放送　市長のスマイルメッセージ　より）